

明治大学体同連テコンドー部

後期行動報告書

2007年3月31日

明治大学テコンドー部の下半期（2006年10月1日から2007年3月31日）の
諸活動・行動について報告致します。

項

1. 練習体制についての報告
2. 平成18年度後期の主要行事等の報告
3. 大会報告
4. 多摩区民祭・生明祭
5. 四大飲み会（x'masパーティー・後期納会）
6. 昇級・昇段審査
7. 合宿（炫武館合宿・春季強化合宿）
8. 大東文化大学合同練習
9. 追いコン

1. 練習体制についての報告

A) 練習日及び時間

曜日	月曜日	火曜日	木曜日	土曜日
内容	通常練習	通常練習	強化練習	通常練習
時間	18:00 ~ 21:00	18:00 ~ 21:00	18:00 ~ 21:00	14:00 ~ 17:00
場所	道場	道場	道場	体育館

B) 春季休業中（2月1日から3月31日）の練習

春季休業中は下記の時間帯で練習を行いました。

曜日	月曜日	火曜日	木曜日	土曜日
内容	通常練習	通常練習	強化練習	通常練習
時間	17:00 ~ 20:00	13:00 ~ 16:00	17:00 ~ 20:00	14:00 ~ 17:00
場所	道場	体育館	道場	体育館

春季休業中は体育館の利用可能時間が増えるため、火曜日も体育館で練習することが出来ました。

2. 平成18年度後期の主要行事等の報告

	行事等行動内容
10月	多摩区民祭
11月	炫武館合宿 生明祭
12月	昇級・昇段審査 全日本テコンドー選手権大会 南関東オープン大会 X'masパーティー
1月	(後期テスト期間)
2月	全日本学生テコンドー選手権大会 東京都大会 後期納会

3月	全日本プムセ大会 大東文化大学合同練習 春季強化合宿 追いコン 昇級・昇段審査
----	---

3. 大会報告

A) 四大学交流試合

11月12日(日)東海大学の武道場において、明治大学主催による『第3回大学交流親善試合』を行いました。参加校は、神田外国語大学・関東学院大学・東海大学・明治大学の4大学で、男子は5階級、女子は4階級にわかれ、総勢39名の選手が出場しました。明治大学からは、一年生を中心とした18名の選手が参加し、優勝6名、準優勝5名、三位入賞6名という結果を残しました。主将を中心とした各大学の代表者が審判を、また部員全員で会場設営や大会運営を行い、今大会を通して大学間の交流を図ることができました。

『大会結果』

階級	結果
男子軽量初級	優勝：辻川 寛隆
男子中量初級	優勝：中嶋 亮順
女子 - 48kg 初級	優勝：井上 実紗
女子軽量初級	優勝：清水 冬音
女子中量初級	優勝：加藤 萌
女子フライ中級	優勝：涌沢 ゆりか

B) 全日本テコンドー選手権大会

12月10日横浜市立大学総合体育館にて全日本テコンドー選手権大会が行われました。初代主将であった岩本聖が出場をはたし、監督・部員およそ50人が応援にかけつけ、みな一丸となって応援しました。結果は延長戦の末おしくも初戦で破れてしまいましたが、全日本選手権という舞台に2年連続出場を果たし、皆の大きな目標である全日本大会への道を切り開きました。

『大会結果』

男子フライ級 岩本 聖 ベスト8

C) 南関東オープンテコンドー選手権大会

12月23日(土)に横浜市保土ヶ谷スポーツセンターにて南関東オープンテコンドー選手権大会が行われました。今大会は、参加者300名という大きな規模でおこなわれ、明治大学からも男子10名、女子7名の計17名が出場しました。大会成績はその内10名が入賞、また南関東オープンにおいて初の優勝を飾ることができ、大いなる結果を残せたと言えます。年々高くなる大会レベルの中、多くの入賞者と初優勝の快挙をあげることができ、実りのある大会になりました。

『大会結果』

階級	結果
男子ライト級	優勝：太田 洋一 第三位：中嶋 亮順
男子バンタム級	第三位：森谷 淳一 第三位：荻原 甚
一般女子A級	第三位：涌沢 ゆりか 第三位：三宅 真央
一般女子B級	優勝：保谷 美恵 準優勝：藤本 佳那 第三位：加藤 萌
一般女子C級	第三位：糸原 里美

D) 全日本学生テコンドー選手権大会

2月12日(月) 神戸市立中央体育館にて全日本学生選手権大会が行なわれました。明治大学からは男子7名、女子10名の計17名が出場し、7名の部員が応援に駆けつけました。本大会は全日本テコンドー選手権大会の予選でもあり、入賞者には全日本選手権の出場資格が与えられます。全国から選手が集まり、白熱した試合が行われました。結果、7人もの選手が入賞し、全日本選手権大会の出場権を獲得しました。

[大会結果]

階級	結果
男子フライ級	第三位： 岩本 聖
男子フェザー級	第三位： 栗橋 孝幸
女子フィン級	第三位： 米原 綾美
女子フライ級	準優勝： 三宅 真央 第三位： 藤本 佳那 第三位： 井上 実紗
女子バンタム級	第三位： 下中 香代子

E) 東京都大会

2月25日(日)大東文化大学板橋校舎体育館にて東京都大会が行われました。8時30分から計量があり全員が通過しました。その後、9時30分より開会式が行われ試合が開始されました。明治大学からの参加選手は初級16名、上級1名の合計17名で、そのうち1人が骨折のため棄権しました。試合では、明治大学の選手どうしや明治大学の選手対浅草道場の選手などの試合も見られました。10名もの選手がメダルを獲得し、初めての入賞者にとっては、とても大きな自身となりました。

また、明治大学から3人の部員が審判を行い、セコンドは主に岩本初代主将・斉藤監督が入られました。

[大会結果]

階級	結果
- 58kg 初級男子	準優勝： 辻川 寛隆
- 68kg 初級男子	第三位： 小林 毅士 第三位： 清水 正人
- 80kg 初級男子	準優勝： 吉田 大祐
- 49kg 初級女子	優勝： 井上 実紗 第三位： 谷田 智子 第三位： 米原 綾美
- 57kg 初級女子	優勝： 清水 冬音 準優勝： 加藤 萌 第三位： 江藤 文香

F) 全日本テコンドープムセ選手権大会

埼玉県入間市にある入間市武道館で全日本テコンドープムセ選手権大会が開催されました。明治大学からは、宮島 早苗が出場し15名の部員が応援に駆けつけました。惜しくも入賞することは出来ませんでしたが、明治大学からプムセ大会に出場することは創部以来初めての試みであり、新たな道を切り開きました。今後は、さらに多くの選手がプムセ大会に出場し活躍することを期待したいです。

[大会結果]

宮島 早苗 出場

4. 多摩区民祭・生明祭

A) 多摩区民祭

今年の多摩区民祭は2006年10月21日(土)に行われ、演武を行いました。

演武幹事：太田、保谷、中島、井上

出演者：2年生 太田、保谷

1年生 中島、井上、大沼、清水(冬)、清水(し)、糸原、山岡、横山、
辻川、小林、池田、江藤、谷田、庄田、織戸、加藤

司会：間々田(2年) 音響：渡辺(1年) ビデオ：近藤(1年)

タイムキーパー：米原(1年)

内容は、型・板割・護身術・テコンビクス・劇でした。時間は15分間で、型・テコンビクスは早い時期から道場や格技場等を使用して練習していたため、練習の成果が発揮されて、大きなミスもなくスムーズに行えました。

1年生の板割には風船を、2年生は本物の板を使用しました。しかし、今回は舞台のあった場所が昨年と違い池の上に設けられており、通路が狭いため横からの入場時や板渡し、すれ違いが大変でした。

B) 生明祭

2006年度も部全体の交流を深めるために、生明祭に出店しました。今年度も三年生の幹事、二年生の総幹事、一年生の総幹事、調理を取り仕切る調理幹事、全体のお金を管理する会計幹事、シフトや商品のアピールのポスターを作製する宣伝幹事、レンタル器材の管理や出店のアピールの看板を作製する施設幹事、演武の企画や練習を取り仕切る一・二年生の演武幹事をそれぞれ6月中までに決定しました。二年生と一年生の総幹事は5月下旬から生明祭ガイダンスに出席し、重要なことをその都度部全体に報告して全体が活動できるようにしていました。その他の幹事とも、随時話し合いをして活動していました。

8月中旬に第一回試作会を行い、夏季強化合宿中に販売する商品をタッカルビ丼に決定し、その後も試作会を2回ほど行い一杯につきどれくらいの量で売るか決定しました。また9月からは、月1回のペースで二年生総幹事と一年生諸幹事で話し合いを行いました。

今年のスローガンは『楽しく儲ける』と言うもので、集金した額が返金されればよいというものでした。しかし予想とは違いよく売れたため、売れるだけ売ろうと言う方針に変わり、大幅な黒字となりました。この生明祭は互いに意見を出し合うことによって団結力を強化するものとなり、特に一年生全体が互いに助け合おうとする精神を培うものとなったようです。

5. 四大飲み会（X'masパーティー・後期納会）

A) X'masパーティー

12月26日、向ヶ丘遊園の竹泉ダイニングで、18時から20時15分まで第三回X'masパーティーが行われました。このパーティーは忘年会も並行して開催されました。参加者は54人で、昨年と同様に仮装パーティーの形式で投票により順位をつけ、上位者には賞品が贈られました。誕生日会にファッションショーとイベントが盛り沢山でした。また、部員が作った手作りのクリスマスケーキも持ち込まれ、大いに盛り上がりました。皆、個性あふれる仮装で、楽しく笑いが耐えないパーティーとなりました。

B) 後期納会

2月25日（日）、池袋東口の「甘太郎」で後期納会が行われました。貸切りではなく座敷タイプの個室で行い、東京都大会当日に行われたためラフな服装での会となりました。18時30分から21時30分の3時間、部員が一同に介し都大会打ち上げ・斉藤監督誕生日会を兼ねて活動納めをしました。斉藤監督の挨拶や本所部長との交流等、貴重な時間を過ごすことができました。

6. 昇級・昇段審査

A) 12月3日（日）浅草道場で昇級・昇段審査が行われました。多摩区民祭や生明祭、炫武館合宿など行事が多く忙しい日程の中、時間を有効活用し練習時のみでなく練習後も自主的にブムセの練習を重ねました。当日は、練習通りの実力を出すことができた部員と出し切ることができなかった部員がいましたが、受験者全員が昇級することが出来ました。また、今回の昇段審査で伊庭 和宏が明治大学テコンドー部史上二人目となる黒帯に昇段しました。伊庭の昇段は部員にとっても大きな喜びであり、また目標にもなりました。

B) 3月25日（日）浅草道場で昇級審査が行われました。今回の昇級審査で帯の色が変わる部員が多く、帯の色に見合うようにブムセの練習に取り組みました。しかし、当日の審査ではブムセの順番を間違えてしまった部員もいたので、心・技・体ともに帯の色に恥じぬよう努力してもらいたいです。

昇級審査後に師範から6月いっぱい浅草道場がなくなってしまうという重大発表がありました。全員が大きな衝撃を受けましたが、師範も明治大学テコンドー部も今まで通りの活動を続けて行くことを誓い、テコンドーの更なる発展を目指し頑張っていきます。

7. 合宿（炫武館合宿・春季強化合宿）

A) 炫武館合宿

1月3日（金）から5日（日）まで2泊3日、神奈川県三浦市の“ふれあいの村”という場所で、炫武館が主催する合宿が行われました。関東学院大学や神田外語大学も参加し、明治大学からは二年生を中心に24人の部員が参加しました。炫武館の多くの小学生も参加しており、大学生3人+小学生5人程のグループに分かれて、3日間をともに行動しました。初日は子供の扱いに慣れてなく接し方に戸惑う部員が多くいましたが、日に日に上手くコミュニケーションを取れるようになり、3日目には部員全員がしっかりと子供達に指示を出し誘導できるようになっていました。練習では、姜師範をはじめ多くの炫武館の指導者にテコンドーの技術を教わりました。炫武館と交流できる機会はあまり無いので、とても良い機会となりました。

B) 春季強化合宿

今年も山梨県の山中湖にある“グリーンヒルズ ニューみなみ”という宿で、3月16日から19日までの3泊4日で春季強化合宿が行われました。まず、初日の練習は3時間の午後練から始まり、ライン中心のメニューを行いました。そして宿舎に戻り、合宿当日までに調べた書籍発表を行いました。この書籍発表は、1年生を中心としてメンタル・食事・筋トレ・ストレッチについて調べ、みんなに発表し、今後テコンドーをする上で役立つために行われました。2日目は朝練を予定していましたが、雪が降り路面が凍結していたこともあり中止になりました。この日は午前練3時間・午後練2時間でミット蹴りを中心に行い、また昇級審査が近かったこともあり、プムセの練習も行いました。この後のフリータイムでは、3つのグループに分かれドッジボールをしました。3日目は6時半から30分間、朝練として山をランニングし、午前・午後は、防具をつけたキョルギ大会が行われました。同じような階級の人が3、4人集まり、リーグ戦を行いました。また最後には、4年生の伊庭・岩本と1・2・3年生の部員がそれぞれ一本キョルギを行い大変盛り上がりました。この日の夜には飲み会を行い、今回が学生最後の合宿である4年生と3年生が部の歴史について話してくださいました。また、合宿ならではの一発芸などで大いに盛り上がりました。4日目の午前中は、普段通りのメニューをし、午後には宿舎を出発し生田で解散しました。この合宿でそれぞれ部員たちの成長がみられ、とても価値のある合宿となりました。

8. 大東合同練習

2007年3月10日(土)大東文化大学板橋校舎にて、大東文化大学体育会テコンドー部と炫武館八王子道場と合同練習を行いました。大東文化大との合同練習は二回目で、今回も練習は大東文化大の金井監督の指揮の下で行われました。練習はとてもスムーズに行われ、始めに準備体操、次にライン練習を行いました。ライン練習は普段の明大のメニューに加え、連続蹴りやステップしながらの蹴りといった実戦的な動きも練習しました。その後、ミットを使い指定された蹴りと自由な蹴りを各自で練習しました。ミット蹴り後はステップキョルギ・キョルギ・一本キョルギなどの試合を意識した練習を行いました。特にキョルギでは実際に電光掲示板で得点を表示して行ったため、気迫や緊張感は試合と変わらぬものでした。このような激しいメニューにもかかわらず全員が集中して練習していたため、怪我人を出すことなく無事に練習を終えることができました。練習後は居酒屋にて親睦会が開かれ、各団体と交流し輪が広がりました。

9. 追いコン

3月23日(金)学校の食堂で追いコンを行いました。部を創設した代であり、テコンドーだけでなく大学生活の楽しみ方など様々な点で非常にお世話になった4年生に、今までの感謝の気持ちを込めて数ヶ月も前からこの日のために準備しました。4年生へ部員からのプレゼントとアルバムの贈呈や4年生からの言葉を頂き、とても内容の充実した飲み会になりました。

2次会からは、師範・監督・愛さん・部長もおこしいただき、創立当初のお話などをして頂きました。全員で4年生を送り出すことができ、感謝の気持ちを伝えることができ良かったです。先輩方の、そしてこれからの部の新たな門出の日となったでしょう。